

株式会社4°Cホールディングス
(東証一部 8008)

第66期(2016年2月期)決算説明会

2016年4月11日

4°C holdings group

Contents

I. 2016年2月期決算概要と総括

II. 2017年2月期業績予想と重点施策

III. 第4次中期経営計画の進捗状況

(株)4°Cホールディングス 代表取締役社長 鈴木秀典

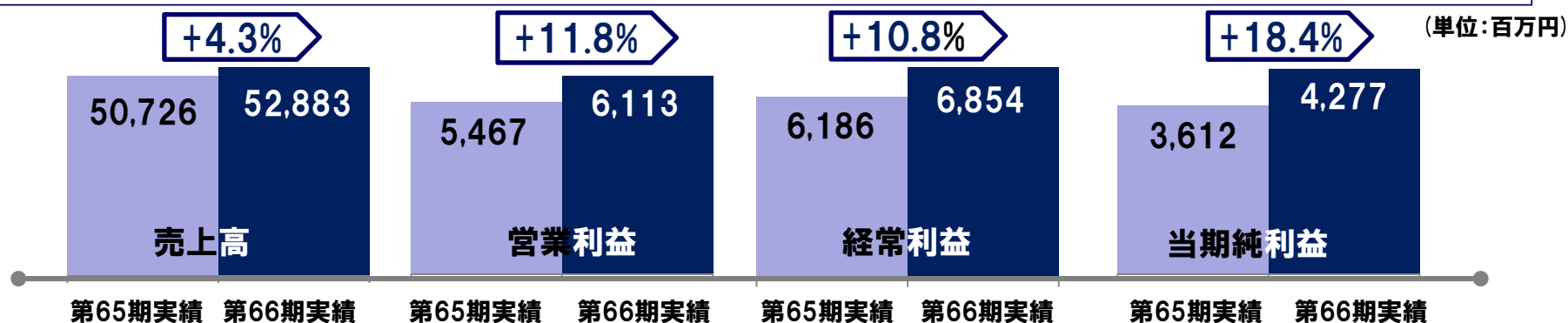
※資料内の数値は百万円未満を切り捨て表示し、百分率は原データから算出しております。

当資料の業績予想に関する記述、及び客観的事実以外の記述に関しましては、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、当社の事業をとりまく経済情勢、市場の動向、為替レートなどに関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご了承ください。

連結業績の概要

増収増益、営業利益・当期純利益は4期連続、経常利益は5期連続で過去最高益を更新

売上高 528.8億円(前期比4.3%増) 営業利益 61.1億円(同11.8%増)
 経常利益 68.5億円(同10.8%増) 当期純利益 42.7億円(同18.4%増)

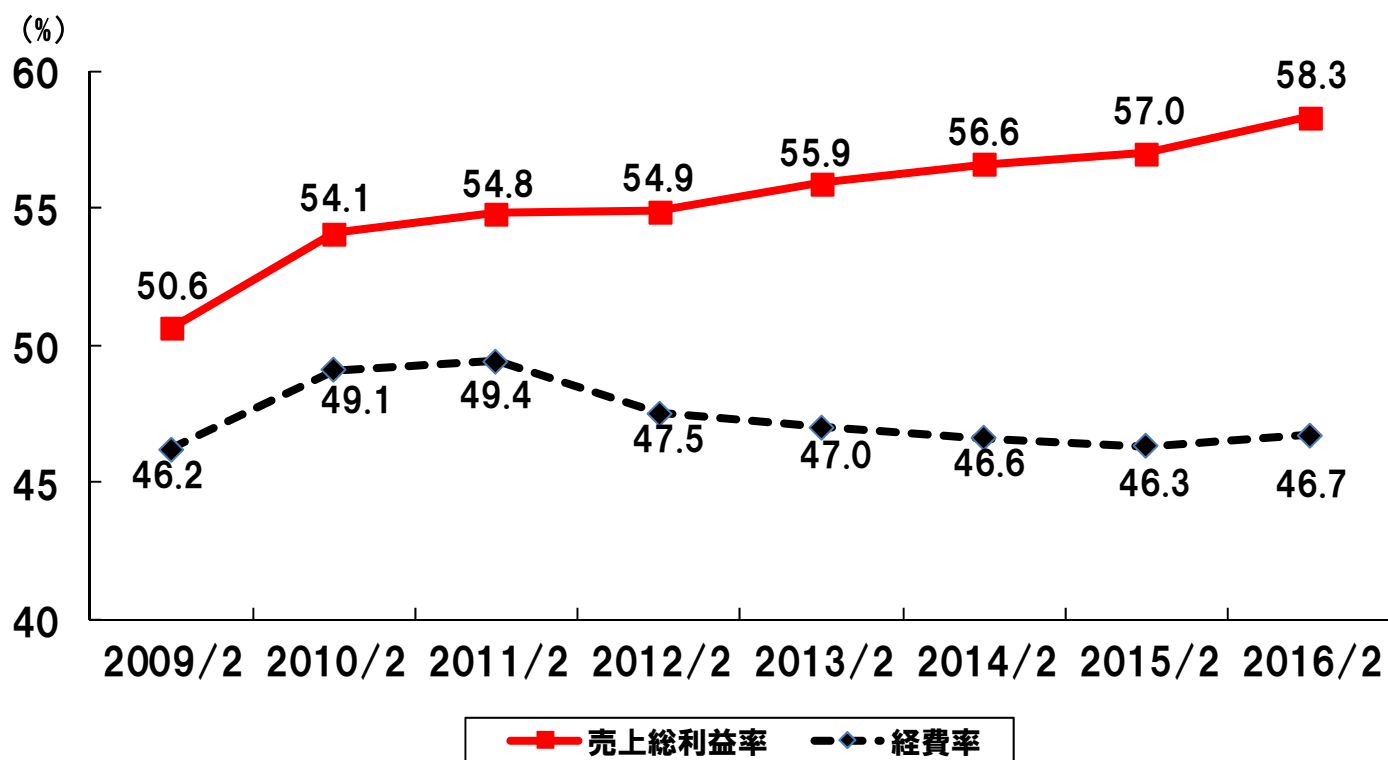


(百万円、%)	第65期 (2015/2)		第66期 (2016/2)		第66期 (2016/2)		前期比 増減(%)	計画比 増減(%)
	実績	(%)	計画	(%)	実績	(%)		
売上高	50,726	100.0	52,500	100.0	52,883	100.0	+4.3	+0.7
売上総利益	28,937	57.0	30,350	57.8	30,831	58.3	+6.5	+1.6
売上総利益率	57.0		57.8		58.3		+1.3pt	+0.5pt
販売管理費	23,469	46.3	24,550	46.8	24,717	46.7	+5.3	+0.7
営業利益	5,467	10.8	5,800	11.0	6,113	11.6	+11.8	+5.4
経常利益	6,186	12.2	6,700	12.8	6,854	13.0	+10.8	+2.3
当期純利益	3,612	7.1	4,100	7.8	4,277	8.1	+18.4	+4.3

(※第66期(2016年2月期)より、従前の営業収益相当額を売上高として表記)

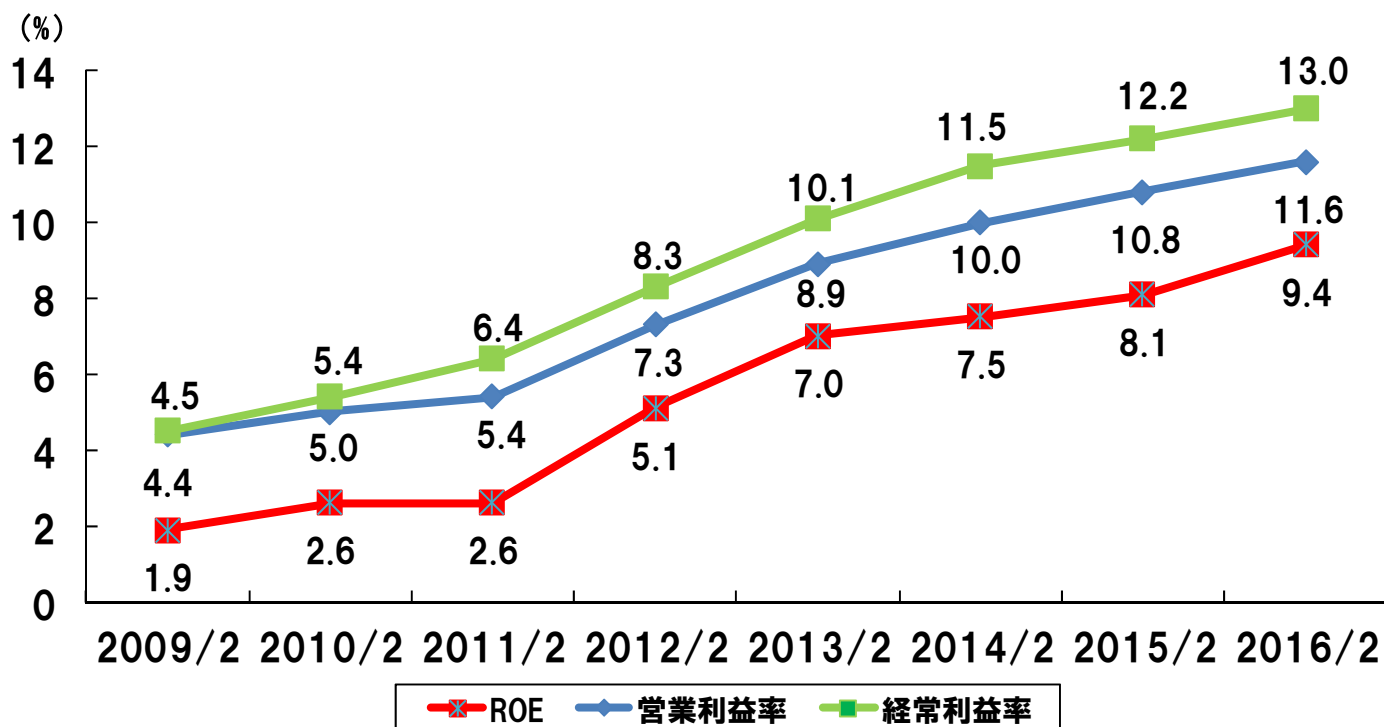
利益率の改善①

収益構造が一層改善、損益分岐点が低下



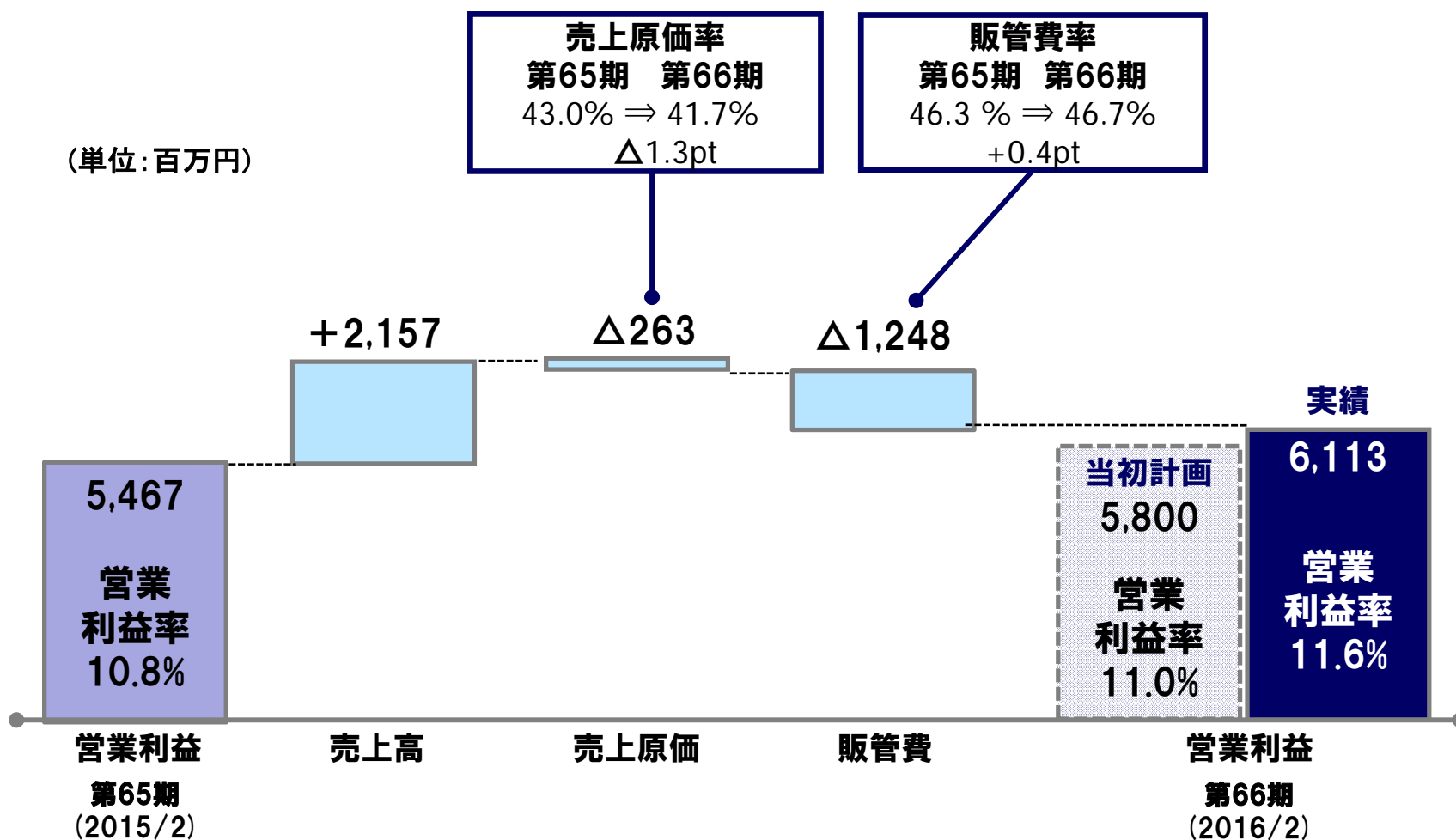
利益率の改善②

営業利益率、経常利益率、ROEともに大幅に上昇



営業利益の状況

営業利益61.1億円(前期比11.8%増) 営業利益率11.6%(前期比0.8%増)

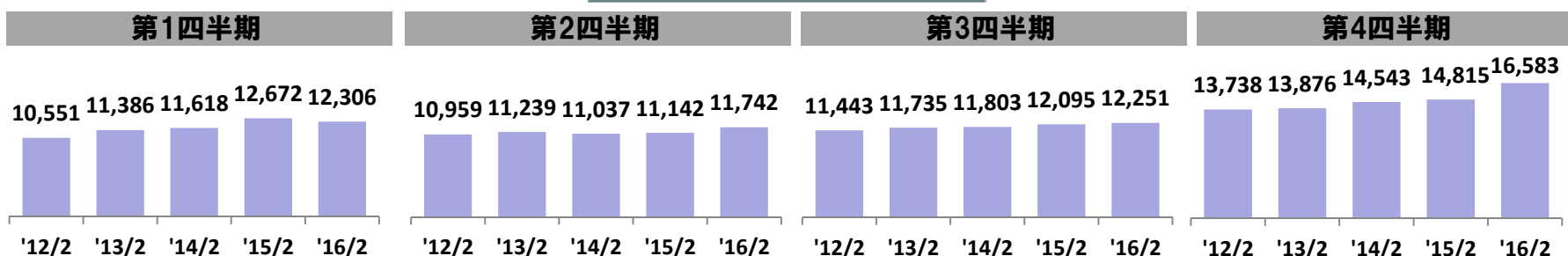


四半期業績の推移

売上高、営業利益ともに順調に成長

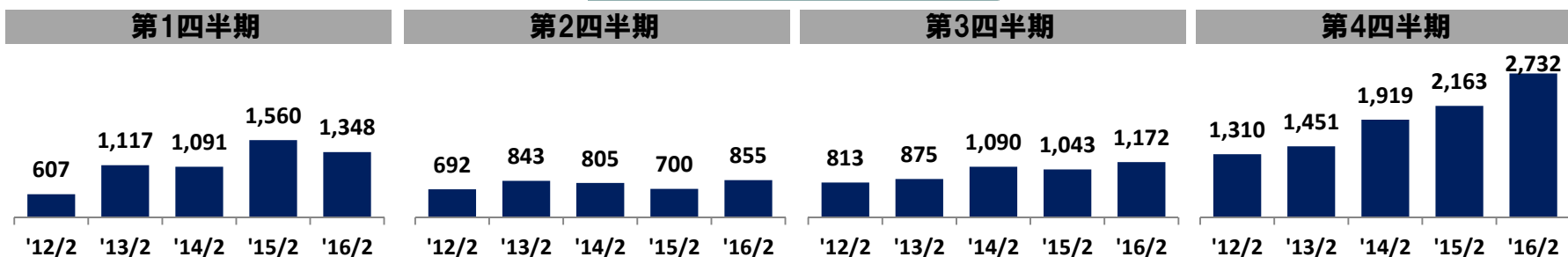
売上高

(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)

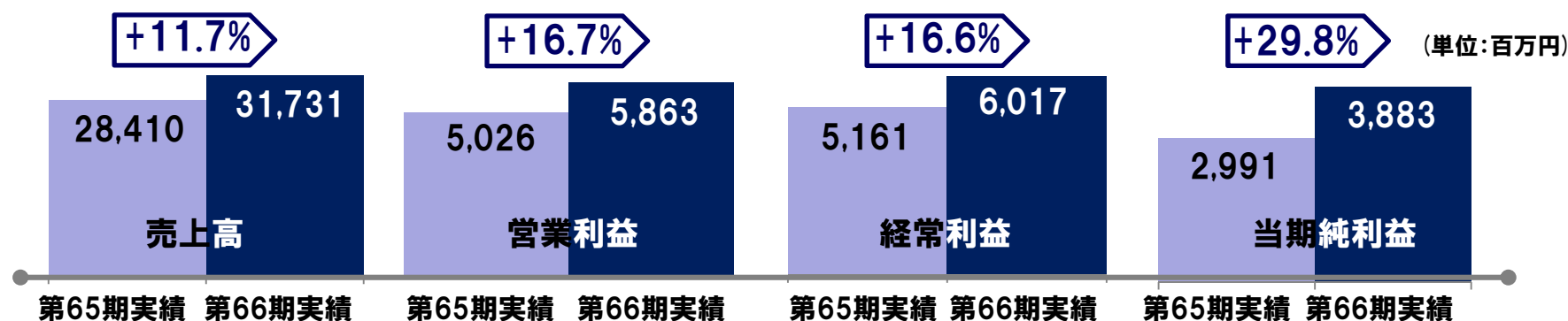


(百万円)	第65期 累計 (2015/2)	第66期 1Q期間	第66期 2Q期間	第66期 3Q期間	第66期 4Q期間	第66期 累計 (2016/2)	前年差	増減率 (%)
売上高	50,726	12,306	11,742	12,251	16,583	52,883	2,157	+4.3
売上総利益	28,937	7,083	6,549	7,190	10,007	30,831	1,894	+6.5
営業利益	5,467	1,348	855	1,172	2,737	6,113	646	+11.8

セグメント別の概要

◆ ジュエリー事業

- 売上高、利益高ともに過去最高を更新
- ゾーン・アイテムの拡充等により、既存店は前年比6.7%増と計画以上に伸張
- 「4°C BRIDAL」はフェア施策が奏功、「canal4°C」、「Luria4°C」は出店拡大進む



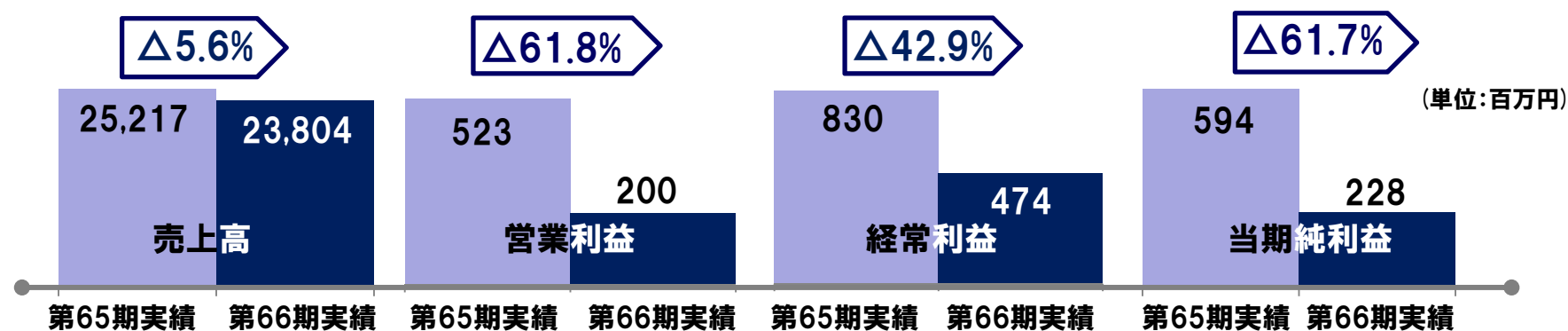
(百万円、%)	第65期 (2015/2)		第66期 (2016/2)				前期比 増減(%)	計画比 増減(%)
	実績	(%)	計画	(%)	実績	(%)		
売上高	28,410	100.0	30,170	100.0	31,731	100.0	+11.7	+5.2
営業利益	5,026	17.7	5,361	17.8	5,863	18.5	+16.7	+9.4
経常利益	5,161	18.2	5,493	18.2	6,017	19.0	+16.6	+9.6
当期純利益	2,991	10.5	3,400	11.3	3,883	12.2	+29.8	+14.2

(※内部相殺前数値)

セグメント別の概要

◆ アパレル事業

- 円安、天候不順等によりアパレルメーカー事業、アパレルSPA事業が苦戦
- デイリーファッション事業は「パレット」が好調、新規出店もあり順調に推移



(百万円、%)	第65期 (2015/2)		第66期 (2016/2)		前期比・差 増減(%)	計画比・差 増減(%)
	実績	(%)	計画	実績		
売上高	25,217	100.0	25,014	23,804	△5.6	△4.8
営業利益	523	2.1	556	200	△61.8	△64.1
経常利益	830	3.3	803	474	△42.9	△40.9
当期純利益	594	2.4	433	228	△61.7	△47.4

(※内部相殺前数値)

財政状態、キャッシュ・フローの状況(連結)

- 総資産605億円、負債153億円、純資産452億円
- 自己株式100万株を26億円にて取得、資本効率が向上
- フリーCF 47億7,400万円、16億3,000万円の増加

財務状況

2016年2月末時点

総資産 605億円	153億円	負債
	452億円	純資産

キャッシュ・フロー

(単位:百万円)	第65期 (2015/2)	第66期 (2016/2)	差額
営業CF	4,329	5,319	990
投資CF	△1,184	△545	△639
財務CF	△3,298	△3,739	441
フリーCF	3,144	4,774	1,630

設備投資・減価償却費の概要(連結)

設備投資額 : 15.3億円 減価償却費 : 11.6億円

(百万円、%)	第65期 (2015/2) 実績	第66期 (2016/2) 実績	前期差
---------	------------------------	------------------------	-----

設備投資額
(長期前払費用含む)
(取得ベース)

1,672

1,533

△139

(百万円、%)	第65期 (2015/2) 実績	第66期 (2016/2) 実績	前期差
---------	------------------------	------------------------	-----

減価償却費

1,097

1,161

+64

2016年2月期業績は5期連続となる増収、各段階利益は過去最高を更新

ジュエリー事業

- 増収・増益、営業利益は7期連続過去最高益更新を継続
- アイテム拡充や複合店化により既存店売上は前期比6.7%増と大幅に伸張
- 「4°C BRIDAL」は各種フェア施策が奏功し好調に推移
- 「canal 4°C」「Luria 4°C」の新規出店も売上拡大に寄与
- ECの売上高は前期比40%増と計画を上回るペースで成長

アパレル事業

- アスティグループのアパレルメーカー事業はバングラデシュへの生産シフトは進むも、マーケットの不振や円安により苦戦
- 三鈴のアパレルSPA事業は、天候要因もあり厳しい状況で推移
- アージュのデイリーファッション事業は順調に推移、出店拡大も進む

出退店の状況

- ジュエリー事業は計画以上の出店を実施
- アパレル事業では不採算店舗を圧縮

		ジュエリー事業					アパレル事業		合計※	
		国内					海外	(株)三鈴		(株)アージュ
		路面店 ブティック	百貨店	ブライダル ショップ	ファッション ビル	計				
第65期 (2015/2)	期末	6	90	37	60	193	6	76	77	336
第66期 実績 (2016/2)	出店	0	5	2	19	26	0	2	6	33
	退店	0	7	0	4	11	0	11	7	29
	期末	6	88	39	75	208	6	67	76	340

(※アージュにおける販売代行店舗調整後数値)

ジュエリー事業における国内取扱いブランド店舗数の状況

- ジュエリー取扱い店舗、大型複合店化等もあり増加
- バッグ取扱い店舗、アイテム拡充による売場面積拡大により増加

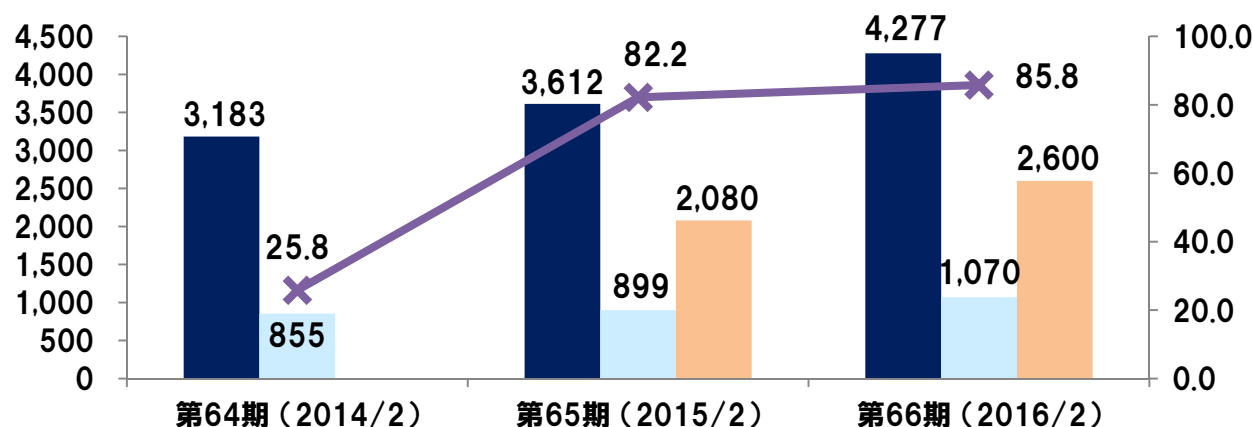
		4°C	4°C BRIDAL	canal 4°C	その他※	ジュエリー計	4°Cバッグ	Luria 4°C	バッグ計
第65期 (2015/2)	期末	88	44	36	23	191	36	7	43
第66期 実績 (2016/2)	出店	6	4	11	10	31	16	13	29
	退店	1	0	2	7	10	3	1	4
	期末	93	48	45	26	212	49	19	68

※1.その他: EAU DOUCE4°C、RUGIADA、MAISON JEWELL、deux et deux

※2.同一店舗にて複数のブランドを扱う複合店は各ブランドごとに1店舗として計上

- 安定的・継続的な配当を基本とし、機動的な自己株式の取得も視野に
 - ⇒ 2016年2月期は前期に比べ8円増配の40円
 - ⇒ 2015年8月に1,00万株の自己株式の取得を実施
 - ⇒ 総配分性向は目標を大きく上回る85.8%

(単位:百万円)



(単位:%)

	第64期 (2014/2)	第65期 (2015/2)	第66期 (2016/2)
1株当たり年間配当金(円)	30	32	40
自己株式買入額(百万円)	-	2,080	2,600
総配分性向(%)	25.8	82.2	85.8
1株当たり当期純利益(円)	116.40	133.90	163.22

I. 2016年2月期決算概要と総括

II. 2017年2月期業績予想と重点施策

III. 第4次中期経営計画の進捗状況

アパレル事業にてSPAを展開する株式会社三鈴の 全株式譲渡を取締役会にて決議

株式会社三鈴の2016年2月期実績

売上高48.7億円(前期比9.1%減)、営業利益△86百万円

株式譲渡の概要

株式譲渡先 : 健康コーポレーション株式会社

譲渡株式数 : 発行済株式数の全て

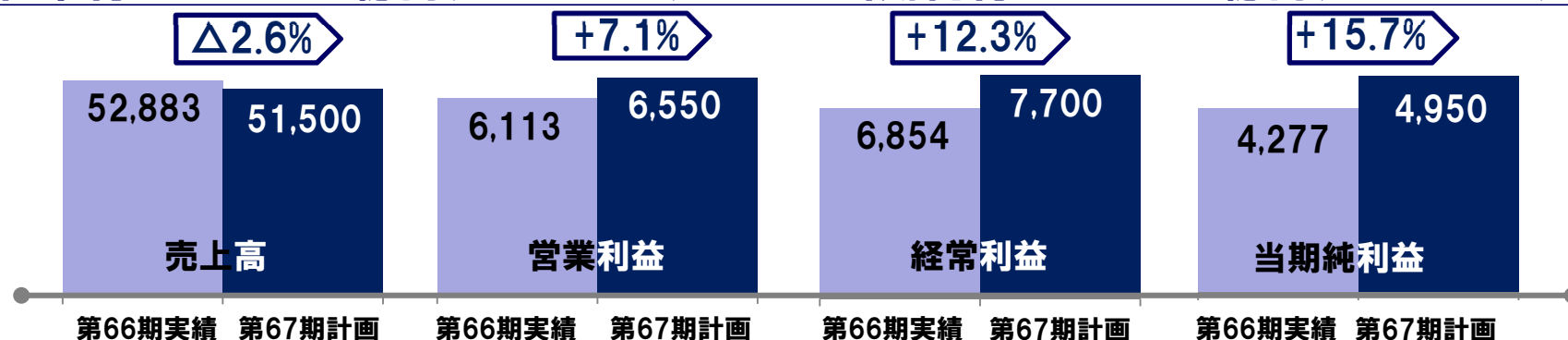
株式譲渡日 : 2016年4月下旬予定

(※連結子会社の異動が業績に与える影響は、2017年2月期予想に反映しています)

2017年2月期連結業績予想

減収増益、営業利益、経常利益、当期純利益とも過去最高益更新の計画

売上高 515.0億円(前期比2.6%減) 営業利益 65.5億円(同7.1%増)
 経常利益 77.0億円(同12.3%増) 当期純利益 49.5億円(同15.7%増)



(百万円、%)	第66期(2016/2)		第67期(2017/2)		前期比 増減(%)
	実績	(%)	計画	(%)	
売上高	52,883	100.0	51,500	100.0	△2.6
売上総利益	30,831	58.3	30,107	58.5	△2.4
売上総利益率	58.3		58.5		+0.2Pt
販売管理費	24,717	46.7	23,557	45.7	△4.7
営業利益	6,113	11.5	6,550	12.7	+7.1
経常利益	6,854	13.0	7,700	14.7	+12.3
当期純利益	4,277	8.1	4,950	9.6	+15.7

2017年2月期セグメント別連結業績予想 (内部相殺前数値)

- ジュエリー事業は引き続き増収増益の見通し(既存店売上高前期比3.0%増)
- アパレル事業は(株)三鈴の株式譲渡及び既存事業の立て直しにより、減収となるも大幅な利益改善の見通し

(百万円、%)		第66期 (2016/2)	第67期 (2017/2)	
		実績	予想	前期比
ジュエリー事業	売上高	31,731	33,900	+6.8
	営業利益	5,863	6,160	+5.1
	経常利益	6,017	6,286	+4.5
	当期純利益	3,883	3,968	+2.2
アパレル事業	売上高	23,804	19,701	△17.2
	営業利益	200	459	+130.1
	経常利益	474	681	+43.7
	当期純利益	228	434	+90.6

(※内部相殺前数値)

出退店の計画

- ジュエリー事業は複合店を含めて17店舗を出店予定
- アパレル事業はパレット5店舗の出店を計画

		ジュエリー事業						アパレル事業		合計※
		国内ジュエリー					海外	(株)三鈴	(株)アージュ	
		路面店 ブティック	百貨店	ブライダル ショップ	ファッション ビル	計				
第66期 実績 (2016/2)	期末	6	89	37	76	208	6	67	76	340
第67期 計画 (2017/2)	出店	0	5	2	9	16	2	—	5	23
	退店	1	1	0	2	4	0	—	0	4
	期末	5	93	39	83	220	8	—	81	292

(※アージュにおける販売代行店舗調整後数値)

ジュエリー事業における国内取扱いブランド店舗数の計画

- ジュエリー取扱い店舗、出店や改装による取扱いブランド店舗数増加
- バッグ取扱い店舗、Luria 4°Cの出店継続

		4°C	4°C BRIDAL	canal 4°C	その他※	ジュエリー計	4°Cバッグ	Luria 4°C	バッグ計
第66期 (2016/2)	期末	93	48	45	26	212	49	19	68
第67期 計画 (2017/2)	出店	3	3	3	4	13	6	10	16
	退店	3	0	0	0	3	2	1	3
	期末	93	51	48	30	222	53	28	81

※1.その他: EAU DOUCE4°C、RUGIADA、MAISON JEWELL、deux et deux

※2.同一店舗にて複数のブランドを扱う複合店は各ブランドごとに1店舗として計上

2017年2月期重点施策～ジュエリー事業 出店戦略

4°C
holdings group

- 好調なcanal4°C、4°C BRIDALの継続的な出店拡大
- Luria 4°Cの加速度的な出店



(4°C BRIDAL町田東急ツインズ店)



(canal4°C MOZOワンダーシティ店)



(Luria 4°C 横浜ルミネ店)

2017年2月期重点施策～ジュエリー事業 ブランドミックス

4°C
holdings group

- 複合店化による売場面積の拡大
(新規出店4店舗、改装による複合店化を4店舗実施予定)
- ブランド複合店やブランド隣接店の出店



(大型複合店の京都BAL店)

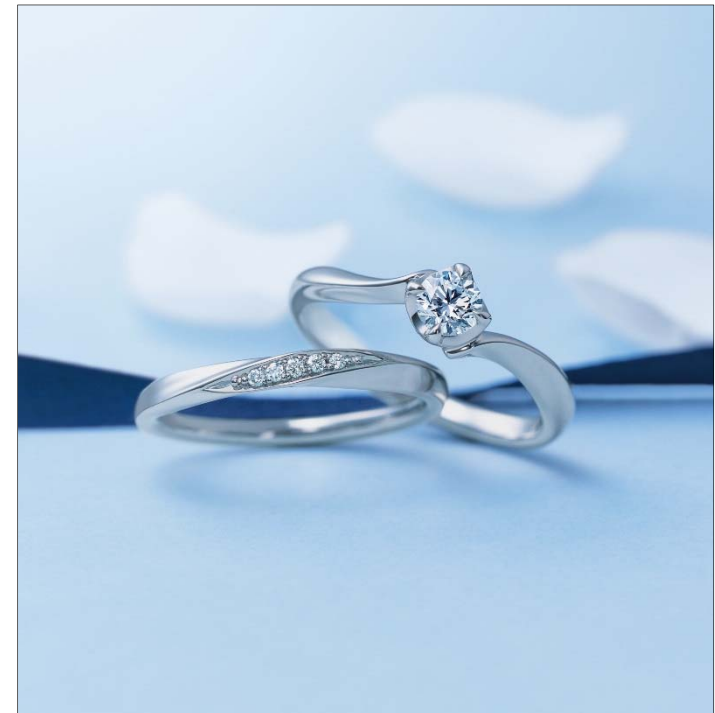


(canal4°CとLuria 4°Cの複合店 くずはモール店)



(canal4°CとLuria 4°Cの隣接店 ららぽーと立川立飛店)

- 2ケタ成長を継続し、将来的にも成長が期待されるマーケット
- ブライダル専門ECサイトを夏に立ち上げ予定



(4°Cオンラインショップ「JEWELRY BOUTIQUE」)

- 2017年2月期は2店舗の出店を計画
(第4次中期経営計画期間に4店舗の新規出店により計10店舗を計画)
- 中国マーケットに対応した商品開発



(中国向けアーカイブ商品)

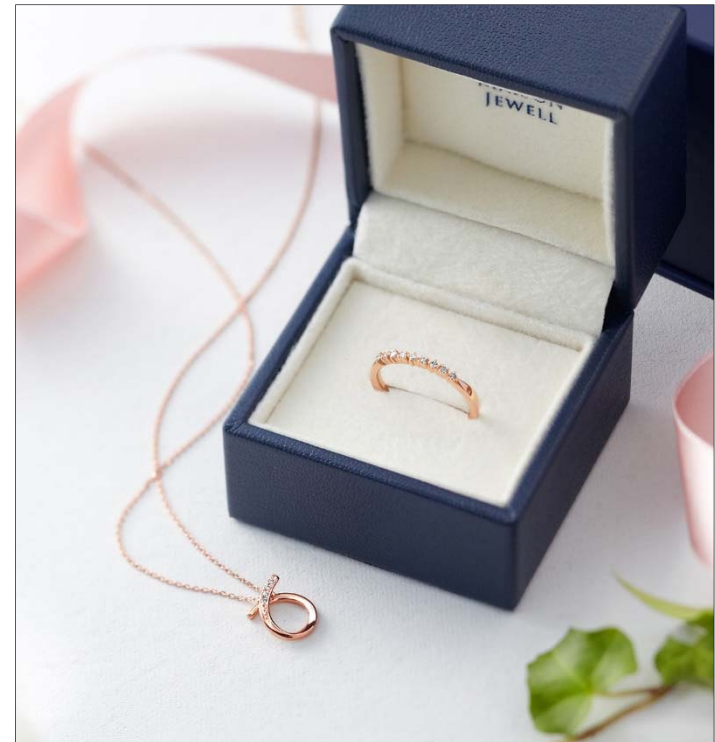


(4°C上海久光店)

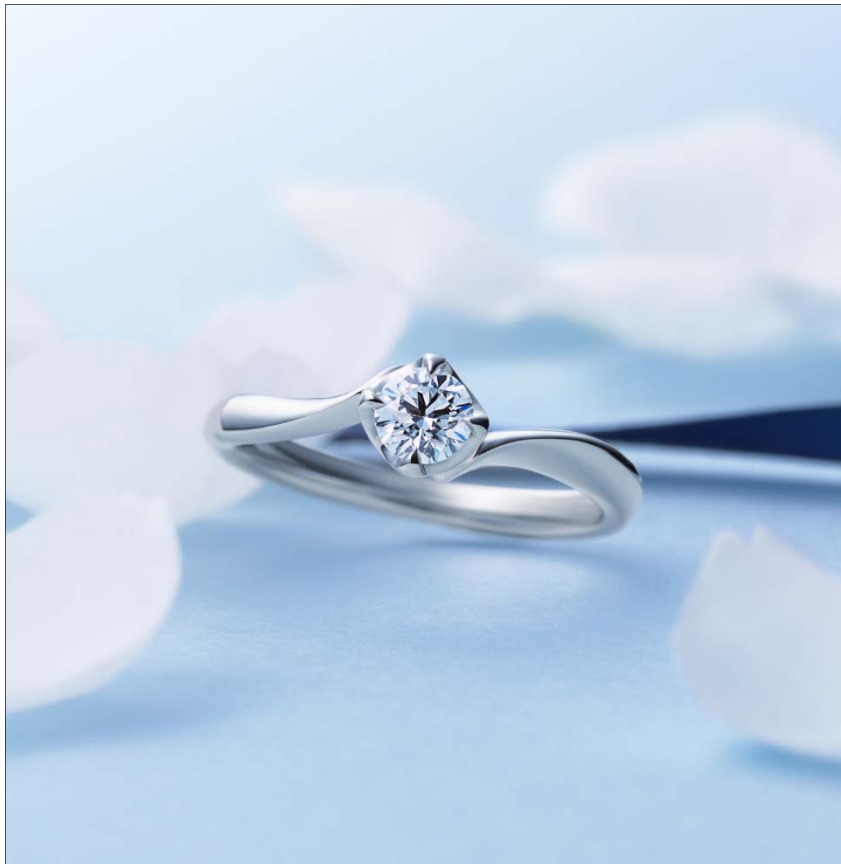
- 「MAISON JEWELL」による郊外型SCチャネルの開拓
- 次の成長戦略を担う事業となるよう、ブランドの育成に注力



(MAISON JEWELL 越谷レイクタウン店)



- ジュエリーのセールを行わないことで、これまでも価格に対する信頼性を構築
- 5月より一部ブライダル商品について▲3～▲5%の価格改定を予定



◆ アパレルメーカー：新規マーケットの確保に向けた生産背景の整備

- 不透明なアパレル市場の動向に対し新規得意先の積極的な開拓
- 得意先の要望にきめ細かく対応する為の素材開発や生産背景の整備

◆ デイリーファッション：「パレット」の関西ドミナント出店の継続

- 「パレット」既存店の活性化と新規出店による関西ドミナントの深耕継続
- 年間5店舗の出店を計画

□ 配当性向を段階的に高め、中期的に30%を目指すことで
配当水準の向上に努める

配当性向等の推移

	第64期 (2014/2)	第65期 (2015/2)	第66期 (2016/2)	第67期 (2017/2) 予想
1株当たり 年間配当金(円)	30.0	32.0	40.0	50.0
配当性向(%)	25.8	23.9	24.5	26.5
総配分性向(%)	25.8	82.2	85.8	-

- 安定的・継続的な配当の他、機動的な自己株式の取得を継続
- 株主への利益還元後のキャッシュは、成長に向けた投資やM&Aへ

- I. 2016年2月期決算概要と総括
- II. 2017年2月期業績予想と重点施策
- III. 第4次中期経営計画の進捗状況**

第4次中期経営計画 重点施策の進捗状況

重点施策を着実に実施し、初年度に計画を上回る成果を達成

重点施策

初年度の進捗

積極的な出店戦略、3ヵ年で70店舗



2016年2月末で33店舗を新規出店

次の成長戦略を担う事業の開発・育成



- ・「Luria 4°C」を17店舗出店、出店を加速
- ・EC売上高、前期比40%増と大幅成長
- ・ECによるブライダルジュエリーの取扱い検証開始
- ・中国市場の開拓に向け、市場にあった商品構成等ノウハウを蓄積

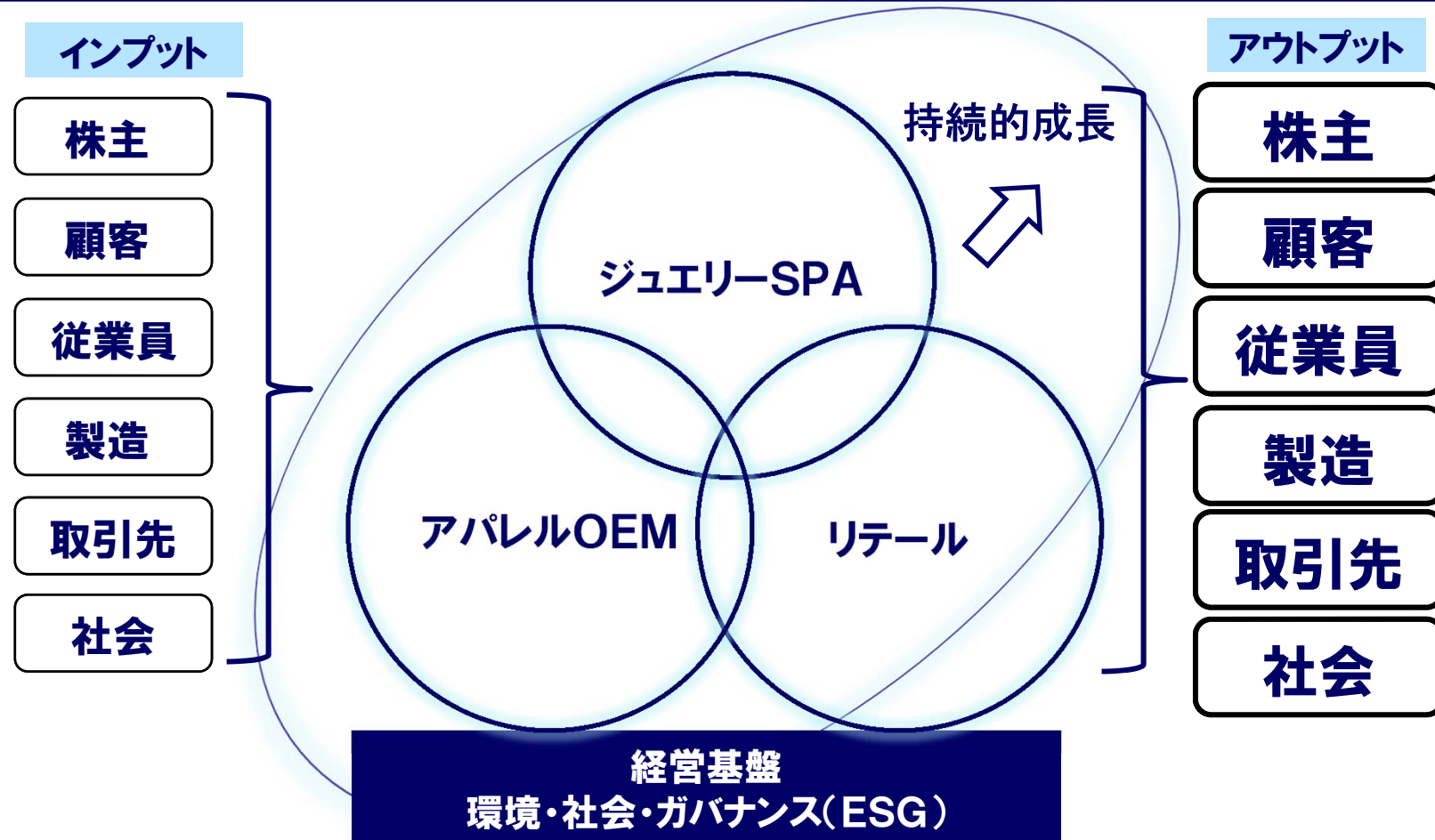
「成長エンジン5本柱」の継続による事業規模の拡大



- ・「4°C」ジュエリー、「canal 4°C」は好調継続
- ・「4°C BRIDAL」はフェア施策等の奏功により好調
- ・デリーファッション事業「パレット」は既存店伸張と出店拡大により関西ドミナントを深耕

安定的・継続的成長に向けて～持続的価値の創出

ジュエリーSPA、アパレルOEM、リテールの3つの事業で価値拡大を目指す



ESGの課題への取り組み～人材育成

- コーポレートユニバーシティ『まっとうな経営塾』による価値伝承、職能開発
- 研修施設“F.D.C. FRIENDS COLLEGE”にて専門的な接客教育の実施
- グループ戦略推進室の設置によるワーク・ライフ・バランス、ダイバーシティの取り組み推進強化



- 相模原ジュエリーセンターに、業界では類を見ない高水準の品質管理体制を構築
- X線検査機の増設や約100名規模の検品体制を構築、ジュエリー全数検品を実施
- お客様の安心・安全を担保し、ブランド価値を維持・向上させるため品質管理体制強化への投資を継続



- **第4次中期経営計画初年度の2016年2月期は、ジュエリー事業の好調により5期連続の増収となり、前期に引き続き過去最高益を更新**
- **第4次中期経営計画の2年目となる2017年2月期は、ジュエリー事業の更なる成長とアパレル事業の立て直しにより最高益の更新継続を目指す
(営業利益・当期純利益は5期連続、経常利益は6期連続の最高益更新)**
- **次の成長戦略を担う事業の開発、育成に向けて、Luria4°Cの出店、中国の新規出店、ブライダル専門ECサイトのオープン、MAISON JEWELLの育成等に注力**
- **株主還元の水準向上を目的に、配当性向を段階的に引き上げ、中期的に30%を目指す**
- **「100年企業」、「100年ブランド」の実現に向けて、「人材の育成」、「商品力の強化」、「マーケット動向の把握」に引き続き取り組む**

本日は誠にありがとうございました

本資料ならびにIRに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社4°Cホールディングス

経営企画部 小塚

TEL 03-5719-3429

FAX 03-5719-3289

E-mail ir-yondoshi@yondoshi.co.jp

※将来に亘る部分につきましては、予想に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。

予想と異なる結果となる可能性があることをご認識の上ご活用下さい。